

MacGAMUT 6 ソフトウェアによる基礎楽理及び聴力学習の強化

マーク・マンノ (台湾・東海大学准教授)

司会：赤津裕子 書記：脇山 純/文責

Ear Training(聴音)は指導者、学生共に手間と時間のかかるものです。今回マンノ氏は「MacGAMUT 6」というソフトウェアをWindows PC上で操作しながら紹介されました。

発表概要

このソフトが扱う範囲は以下の①、②です。

①Basic Theory (基礎理論に関する訓練)

- ・ Intervals (音程) - 2オクターブ以内 - 旋律と和声
- ・ Scales (音階) - 長調と短調、教会旋法、五音音階、

全音音階、八音音階、ジャズの音階

- ・ Chords (和音) - 三和音 七の和音及びそれらの転回

②Ear Training (聴音し記譜する訓練)

- ・ Rhythm (リズムの採譜) - 単純拍子 (2/4, 3/4, 4/4)、複合拍子 (6/8, 9/8, 12/8)、変拍子 (5/8, 7/8)
- ・ Melodic (旋律の採譜) - 簡単な内容から開始し、難易度を上げる。18段階程度
- ・ Harmonic (和声の進行の記譜) - 主要三和音、副三和音、属七の和音、借用和音、ナポリの六度、増六和音、不規則な和声の解決。

○MacGAMUT 6 の優れた点

- ・ 学生が一人で好きな時に自学自習できる
- ・ 比較的金額が安い
- ・ バージョンアップがあり購入後の最初の1回目は無料
- ・ ライセンスは1回購入すれば一生使用できる (最近のライセンスは1年ごとのものも増えた)
- ・ サポートがよい (メールでの質問にも素早い返事がある)
- ・ 問題の設定を教師が決めることができる (例：聞き直す回数、レベル等)

実際にアプリケーションを起動して説明。問題の再生テンポを変えることができる、ト音

記号以外でも表示できる、問題を聞いて、聞き直し(何回聞いたかも表示される)、回答を記入、聞き比べて、答えを修正、答えを決定すると判定される。正解とミスが表示される。

○MacGAMUT 6 の欠点(とは言い切れないが)

- ・ 表示が英語である
- 学生は英語の音楽の授業も受講しているが、英語が苦手な学生もいるので表示される英語はその場でマンノ氏が翻訳されているとのことであった。

※通訳を介しての研究発表なので伝え切れないことがたくさんあったと思われます。

手間暇のかかる聴音を学生が自学自習できることは効率的です。

結果を教師、学生で共有出来ることで学生の力を更に伸ばしたいという意欲が高まると思われます。

学生のレベルに合わせ難易度を変えるなどのオプションが多いのも教える立場上うれしい機能です。

MacGAMUT 6 以外にも聴音のアプリケーションはあるので比較検討するのも面白いと思われます。1988年このMac版が出てその後2000年にはWindows版も出ました。

デモ版もあるので興味のある方はお試しください。

○MacGAMUT Music Software International
ホームページ www.macgamut.com